

「きりんさん、きりんさん」

1歳児のYちゃんが、手作り「きりん」のおもちゃを手に取ってあそび始めました。

〇△ロ・＊・
(きりんさん)
ドーチン〜



そのうちYちゃんはふたんから親しんでいる手あそび歌を口ずさみ始めました。

保育士がYちゃんのリズムに合わせて歌うと、他の子もうれしそうに歌い出しました。



あちのお山も
見たいし〜

ミタイシ〜

シ〜

そして歌い終わると・・・



みんな
上手やったよ。

ア?

アレ?



マダ!

モックイ!(もう1回)

ウン!

保育士やおだちと触れ合いながら手あそび歌を何回も楽しむ姿が見られました。

保育士やおだちと一緒にあそぶことを楽しむことができるよう、ひとりひとりの発達に応じた援助を心がけていきたいと思っています。

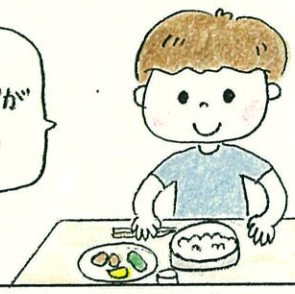
「ぼくのごはん」

給食の時間。3歳児のAくんがうれしそうに弁当箱のふたを開けました。



ごはんを見つけていたAくんがホッソリとつぶやきました。

お米には
たくさんのおか
あさんの愛が
入っているよ。



本当やねー。
Aくん、
誰から
聞いたん?



あのね、
おかあさんが
言っとった。

お弁当箱にごはんを入れるときのおかあさんのやさしい姿に共感している様子が、周りの子どもたちの表情からも伝わってきました。



こうした機会をとらえて、おいしいお米や野菜果物が実るまで、いっしょけんめい世話をしている人がいることに気がせながら食べることの喜びや楽しさを感じるこゝか出来るよう援助していきたいと思っています。